

〈山部泰司略歴〉

- 1958年 岡山県生まれ、京都市在住  
1981年 京都市立芸術大学美術学部美術科卒業  
1983年 京都市立芸術大学大学院美術研究科修了

・最近の個展

- 2016年 「山部泰司 ～風景画の自由と速度～展」 LADS GALLERY、大阪  
「山部泰司 -変成する風景画の流れ-展」 ギャラリーQ、東京  
「山部泰司展 ～ここから始まる風景画～」 奈義町現代美術館、岡山  
2017年 「山部泰司展 山水周遊 廬山に取材し郭熙に倣う」 LADS GALLERY、大阪  
2018年 「山部泰司展 海の見える処へ」 ギャラリーモーニング、京都  
「山部泰司 80年代の仕事」 LADS GALLERY、大阪  
2019年 「山部泰司展～山水探索～」 ギャラリーQ、東京  
2020年 「山部 泰司 行旅臨流 展 」 LADS GALLERY、大阪  
「山部泰司 Stay in the flow」 ギャラリーモーニング、京都  
2021年 「山部 泰司・移転の様態展 」 LADS GALLERY、大阪  
2022年 「山部泰司展 光る風景、動く山水 真庭編」 真庭市蒜山ミュージアム  
「青波緑風山水図 山部泰司展」 岡アートギャラリー、岡山  
「山部泰司展 山水と絵画のかさなりとつらなり」 ギャラリーモーニング(京都)  
2023年 特別展「山部泰司展 花と金：ふたつの異なる時間 Yamabe Yasushi Evanescence and Eternity-Flower/Gold」 華鶴大塚美術館 岡山  
「山部泰司 旅の途中」 LADS GALLERY、大阪

・主なグループ展

- 1982年 「スピリチュアル・ポップ」 (大阪府立現代美術センター、大阪)  
1982年 「フジヤマゲイシャ」 (京都市立芸術大学ギャラリー、京都 / 東京芸術大学展示室、東京)  
1982-1989年 「イエス・アート」 (ギャラリー白、大阪)  
1986年 「アート・ナウ '86」 (兵庫県立近代美術館、兵庫)  
1988年 「花の表現」 (埼玉県立近代美術館、埼玉)  
1990年 「第24回今日の作家 多極の動態展」 (横浜市民ギャラリー、神奈川)  
1994年 「アート・ナウ 関西の80年代展」 (兵庫県立近代美術館、兵庫)  
1995年 「日本の現代美術の断面展」 (ヒュンダイ・アートギャラリー、ソウル・韓国)  
1997年 「第2回 V O C A展」 (上野の森美術館、東京)  
2003年 「CONTEMPLATIONS」 (WORLD WORKS FINE ART、カリフォルニア・アメリカ)  
2011年 「京都・洋画の現在」 (京都文化博物館、京都)  
2013年 「2kw 変電所計画 絵画のリズムとノイズ」 (2kw gallery、大阪)  
2014年 「悦ばしき知覚 - 絵画の深さと明晰さについて」 (ギャラリー16、京都)  
2015年 「FLOW 水は何をつなぎ、何処へ行くのか」 (京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA、京都)

- 2016年 「Wabi Sabi Shima」(Thalie Art Foundation、ブリュッセル・ベルギー)
- 2017年 「第3回総社芸術祭 2017 心のひだ・きびの美術ー遠との共鳴ー」(井山宝福寺、岡山)
- 2017年 「第30回京都美術文化賞」
- 2018年 「第30回京都美術文化賞受賞記念展」(京都文化博物館、京都)
- 2018年 「第五回新朦朧主義(2013 - 2018)」(北京清華大学美術館、北京)
- 2018年 「生きてゐる山水 廬山をのぞむ古今のまなざし」(岡山県立美術館、岡山)
- 2018年 「ニュー・ウェイブ 現代美術の80年代」(国立国際美術館、大阪)
- 2018~2019年巡回 「アートの今・岡山展 2018 Call&Response 呼応」  
(岡山天神プラザ、高梁市歴史博物館、華鶴大塚美術館、岡山)
- 2019年 美作三湯芸術温度 山部泰司展「八景山水」(湯原温泉 八景、岡山)
- 2020年 「三密回避展・休廊中」ギャラリーパリ、横浜  
「ドローイングの可能性」東京都現代美術館  
「京都市京セラ美術館開館記念展 京都の美術 250年の夢 第1部~第3部 総集編ー江戸から現代へー」  
京都京セラ美術館  
「Remote lands」Zuleika Gallery、Woodstock、英国
- 2022年 「きがふれて vol.2」galerie16 京都  
「兵庫県立美術館 開館20周年 関西の80年代」 兵庫県立美術館  
「美作三湯芸術温度 2022」湯原温泉八景(岡山県主催)
- 2023年 アートの今・岡山 2023-2024「旅」野崎家旧宅、勝央美術文学館
- 2024年 華鶴大塚美術館、岡山県天神山文化プラザ